

# 茨城交通水浜線の水戸から那珂湊まで

中央技術(株)

岡崎 克美



## 1. はじめに

このシリーズ3作目となります。全体を早くまとめたいのですが、なかなか進みません。

1作目はJR赤塚駅からJR水戸駅までの茨城線一部と水浜線の各々一部、2作目はJR赤塚駅から御前山までの茨城線全駅を対象としました。その後は2作目区間の補完調査を実施しておりました。3作目は新たな視点を取り入れ、JR水戸駅から起終点の那珂湊までをとりまとめました。

茨城交通茨城線・水浜線の軌道跡は「電車道」と呼ばれ、生活道路として現在も使われている区間が多く分布しています。電車の駅は、「停留場」、「停留所」、「停車場」等と呼ばれていました。

今後さらに充実した調査を実施し、全体をまとめていきたいと計画しております。

## 2. 茨城交通(水浜線)の概要

今回は、上水戸から大洗を通り那珂湊までの水浜線(すいひんせん)のうち、JR水戸駅前駅から湊駅までを報告します。

水戸駅前駅以东の水浜線全体のわかる航空写真(図-1)を示します。さらに路線全駅の一覧表(表-1 内色付け区間)を示します。

水浜線は、大正時代(T11)に浜田駅から大洗の磯浜駅まで開通したのが始まりです。大正から昭和初期にかけて、水浜線は、北は水戸駅前駅(T13)、谷中駅(S2)、袴塚駅(S3)まで、東は祝町駅(T15)、そして那珂川を渡り湊駅(S5)まで延伸されました。昭和31年には茨城線と水浜線が上水戸駅で繋がり、水浜線から大学前駅まで乗り入れました。

また、海門橋流出、第二次世界大戦等を経て、谷中駅~袴塚駅間(S28)、大洗駅~湊駅間(S28)が廃止となりました。戦後および昭和30年代は地元の足として活躍しましたが、時代の進展、モータリゼーションの変化により、昭和40年代には、水浜線は、上水戸駅~水戸駅前駅(S40)、水戸駅前駅~大洗駅(S41)で全線廃止となり、茨城線のJR赤塚駅~大学前駅までの一部で残る(S46)のみとなりました。これらの廃線跡を自分の足で歩いて、街との関わりの中で、新旧の写真を比較してみました。

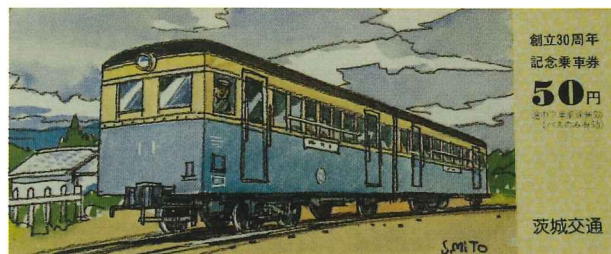


写真-1 記念乗車券(1) 出典: 8)



写真-2 記念乗車券(2) 出典: 8)

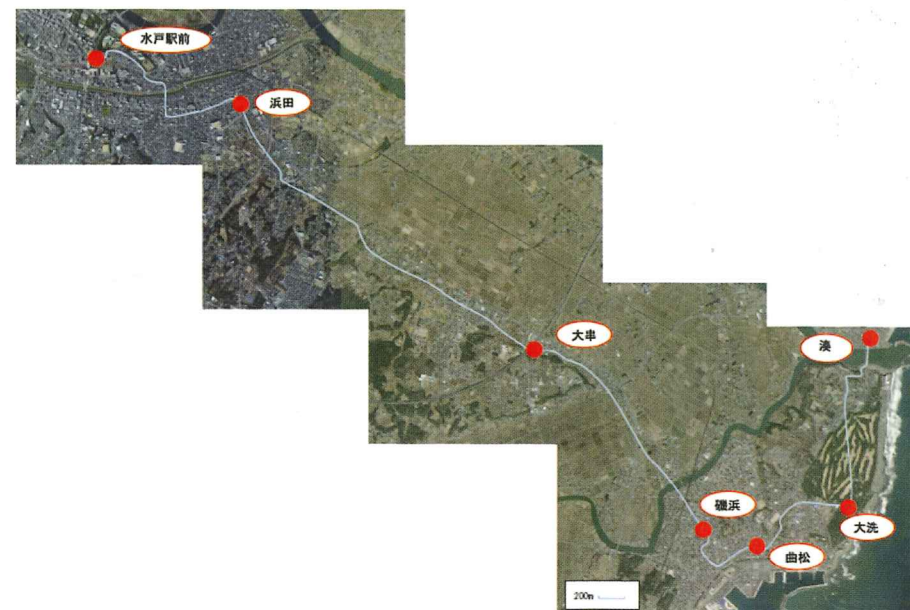


図-1 水戸駅前駅から湊駅までの全体位置図 出典: google 写真地図に追記

表-1 茨城交通水浜線(上水戸-湊) 駅名及び経歴一覧表

線名	駅名	よみ	開業	改称等特記	廃止
(谷中-袴塚)	▲谷中	やなか	S3(1928).7.10接続	S19(1944).8.1休止	S28(1953).10.20
	▲袴塚	はかまつか	S3(1928).7.10接続	S19(1944).8.1休止	S28(1953).10.20
茨城交通 水浜線 (上水戸-湊)	▲上水戸	かみみと	S19(1944).8.1		S40(1965).6.11
	▲谷中	やなか	S2(1927).5.27	S31(1956).1.20水浜線大学前に乗入	S40(1965).6.11
	▲馬口労働入口	ばくろうちよういりぐち	高等学校前S2(1927).5.27	改S28(1953)以前	S40(1965).6.11
	▲一中前	いっちゆうまえ	S2(1927).5.27		S40(1965).6.11
	▲砂久保	すなくぼ	久保町S2(1927).5.27	改S28(1953)~S39(1964)	S40(1965).6.11
	▲公園口	こうえんぐち	S2(1927).5.27		S40(1965).6.11
	▲大工町(2)	だいくまち	向井町広小路T14(1925).2.26	改大工町広小路S9(1934)以降 改S39(1964)以前	S40(1965).6.11
	▲旧大工町(1)	だいくまち	T14(1925).2.27		S9(1934)以降
	▲泉町三丁目	いずみちようさんちようめ	泉町二丁目T14(1925).2.27	改S9(1934)以降	S40(1965).6.11
	▲泉町一丁目	いずみちよういっちようめ	S32(1957)以降		S40(1965).6.11
	▲南町四丁目	みなみまちよんちようめ	泉町広小路T14(1925).2.27	改S39(1964)以前	S40(1965).6.11
	▲南町三丁目	みなみまちさんちようめ	T14(1925).2.27		S40(1965).6.11
	▲郵便局前	ゆうびんきょくまえ	南町広小路T13(1924).7.21	改S5(1930)以前	S40(1965).6.11
	▲水戸駅前	みとえきまえ	T13(1924).7.21	移S40(1965).6.11	S41(1966).6.11
	▲本社前	ほんしやまえ	櫛町T13(1924).7.21	改S39(1964)以前	S40(1965)以前
	▲三高下	さんこうした	三高下S24(1949)以降	改巢立原子力館前 S33(1958)以降、 改三高下 S39(1964)以前	S41(1966).6.1
	▲一高下	いちこうした	中学校前T13(1924).7.21	改S5(1930)以降、貨物引込線との連絡 社道の利用	S28(1953)頃廃止 S38(1963).11.2
	▲東柵町	ひがしざくまち	T12(1923).11.15		S41(1966).6.1
	▲本一丁目	ほんいっちようめ	根積町T12(1923).6.30	改S5(1930)以前	S41(1966).6.1
	▲本三丁目	ほんさんちようめ	T12(1923).6.30		S41(1966).6.1
	▲本五丁目	ほんごちようめ	T12(1923).6.30		S41(1966).6.1
	▲本七丁目	ほんななちようめ	T12(1923).6.30		S5(1930)以前
	▲浜田	はまだ	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1
	▲谷田	やだ	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1
	▲六反田	ろくたんだ	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1
	▲栗崎	くりざき	T12(1923).12.20		S41(1966).6.1
	▲東前	とうまえ	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1
	▲稲荷小下	いなりしやうした	S38(1963).4.1開校と共に		S41(1966).6.1
▲大串	おおくし	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1	
▲塩ヶ崎	しおがさき	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1	
▲平戸	ひらと	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1	
▲磯浜	いそはま	T11(1922).12.28		S41(1966).6.1	
▲大貫	おおぬき	T15(1926).12.14		S41(1966).6.1	
▲曲松	まがりまつ	T15(1926).12.14		S41(1966).6.1	
▲仲町	なかちよう	S2(1927)		S26(1951)	
▲東光台	とうこうだい	T15(1926).12.14		S41(1966).6.1	
▲大洗	おおあらい	T15(1926).12.14	移S20(1945).2 S20(1945).5.8休止	S41(1966).6.1	
▲祝町	いわいまち	T15(1926).12.14		S20(1945).5.8休止 S28(1953).10.20	
▲願入寺入口	がんにゆうじいりぐち	S2(1927).2.3		S20(1945).5.8休止 S28(1953).10.20	
▲海門橋	かいもんばし	S2(1927).2.3		S20(1945).5.8休止 S28(1953).10.20	
▲湊	みなと	S5(1930).11.22		S13(1938).6.28 海門橋流出、休止 S13(1938).6.30	

出典: 1) に各種文献から追記

### 3. 茨城交通（水浜線）各駅の移り変わり

水戸駅前駅から下市の浜田駅、大洗の曲松駅、大洗神社の大洗駅、そして那珂川を渡り起終点の湊駅までの中から特徴のある駅について掲載します。

#### 1. 水戸駅前



図-2 水戸駅前駅から栗崎駅までの全体位置図 出典：google地図に追記

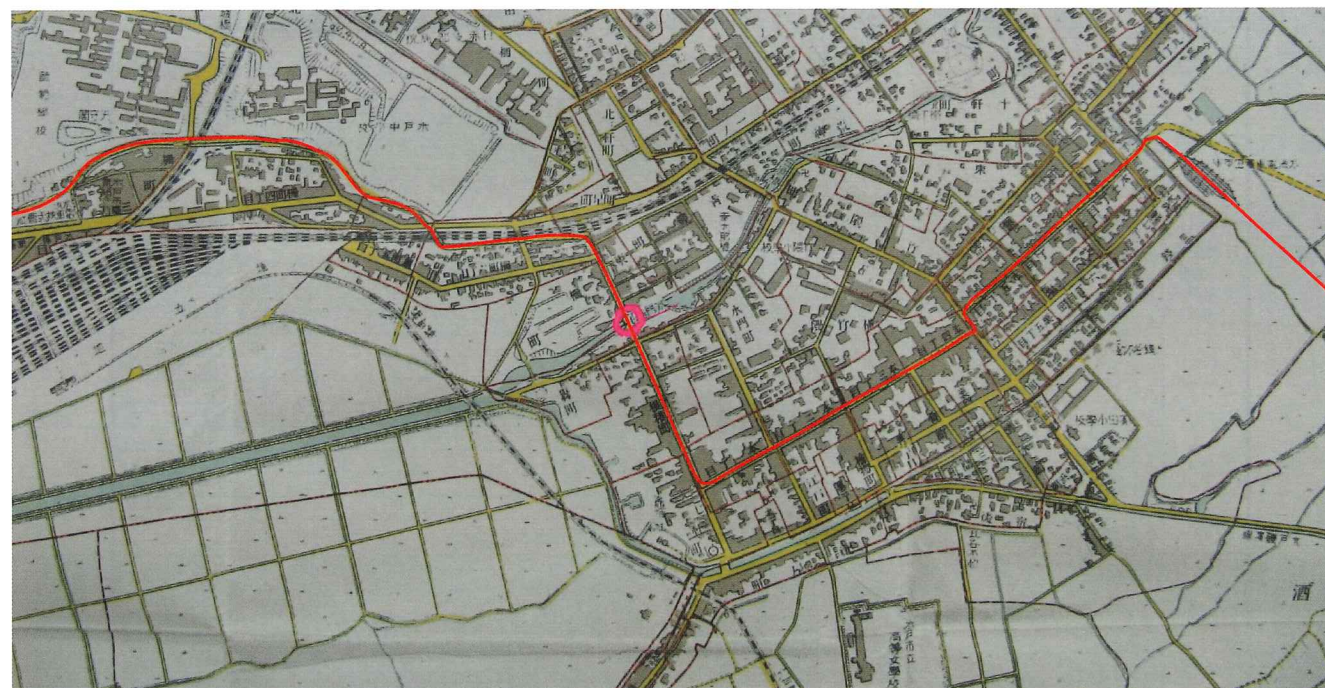


図-3 水戸駅前駅から浜田駅までの昭和9年ころの水戸市平面図（赤丸は水門橋） 出典：2)

水戸駅前駅周辺は、歩道橋で囲まれ大きく変貌し、角にあった東屋旅館は三の丸ホテルに変わりました。



写真-3 水戸駅前 出典：3) 1958(S33).05



写真-4 水戸駅前 2012(H24).09.28

三の丸地域においては、歴史的景観地区として建物、旧門等かつてのイメージを彷彿とさせるような街区の整備が進められております。廃線跡と共に街歩きをお薦めします。



写真-5 三の丸小学校 2012(H24).09.28



写真-6 東武館と水戸市低水配水塔 2012(H24).09.28



写真-7 旧県庁 2012(H24).09.28



写真-8 旧水戸城空堀 2012(H24).09.28



写真-9 弘道館 2012(H24).09.28



写真-10 大手橋 2012(H24).09.28



写真-11 水戸城跡通り 2016(H28).04.10



写真-12 水戸城薬医門 2012(H24).09.28

## 2. 三高下

三高下駅は、1958 (S33) ~1964 (S39) の間は茨城県原子力館前と呼ばれていました。一高と三高間の水郡線は現役ですが、かつての水浜線跡は国道51号となっております。



写真-13 三高下駅 草刈の共同作業中 出典4)



写真-14 一高・三高への通学路 2016(H28).04.10



写真-15 水郡線を越える水浜線 1955(S30).03.04 出典3)



写真-16 現在は国道51号 2012(H24).09.28

## 3. 一高下

水郡線跨線橋を過ぎ、一高下で高度を下げ、再び道路跨道橋、常磐線跨線橋となり、東柵町駅に向かいます。常磐線跨線橋を越えるところで、駅南の低地と遠くの高台が写っております。



写真-17 三高下~一高下 1955(H24).03.04 出典3)



写真-18 一高下 2012(H24).09.28



写真-19 常磐線跨線橋 1965(S40).07 出典3)



写真-20 常磐線を越える線路 1966(S41) 出典4)

## 4. 東柵町

跨線橋により常磐線を越え、並行しながら高度を下げ、直角に曲がり、東柵町に至ります。昔と同じ建物があります。桜川を水門橋で渡りました。橋の継ぎ目には線路跡が残されています。



写真-21 東柵町駅 1961(S36).06 出典3)



写真-22 現在の東柵町 2012(H24).09.28



写真-23 水門橋 2012(H24).09.28



写真-24 残存するレール 2012(H24).09.28

## 5. 本一丁目

常陽銀行下市支店の所で直角に浜田駅方面に曲がります。そこから浜田まではハミングロードとして綺麗に整備されています。道路に沿って、「伊勢屋」さん（ラーメンやキンピラ入り大福、団子などが美味しい）や有名な俳優さんのご実家の写真館などがあります。並行して江戸時代の農業用水路である「備前堀」（関東郡代伊奈備前守親子による）もあります。是非見学して下さい。



写真-25 本一丁目の急カーブ 1964(S39)  
出典：5)



写真-26 同地点 2015(H27).09  
出典：Google ストリートビュー



写真-27 ハミングロード 2012(H24).09.28



写真-28 備前堀 2012(H24).09.28



写真-29 伊勢屋さん 2012(H24).09.28



写真-30 団子や大福 2012(H24).09.28

## 6. 本三丁目から本五丁目間のクランク

ハミングロードほぼ中間の本三丁目から本五丁目になるクランク箇所です。電車は急旋回していました。写真は、大洗行の電車です。岡田時計店さんは現在も営業されています。



写真-31 クランクでの電車 1965(S40).03.28  
出典：3)



写真-32 同地点 2015(H27).09  
出典：Google ストリートビュー

## 7. 浜田

浜田駅は広大な敷地であり、現在はスーパーマーケット「エコス」さんとドラッグストア「カワチ」さんになっております。北側は「ブライダルセンター大矢」さんも営業中です。

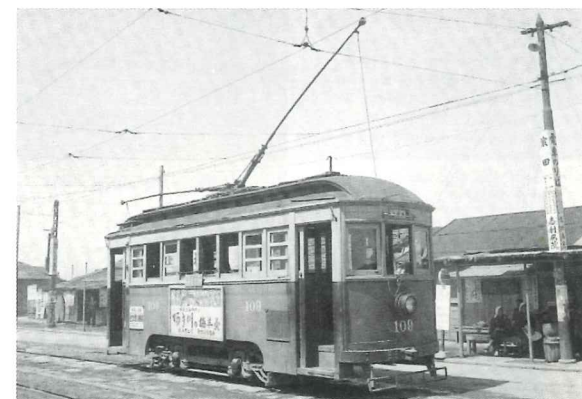


写真-33 浜田駅 1952(S27).04.10 出典：3)

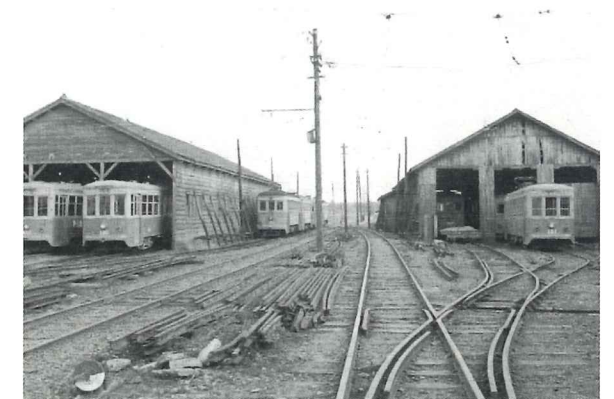


写真-34 浜田車庫 1965(S40).03.28 出典：3)

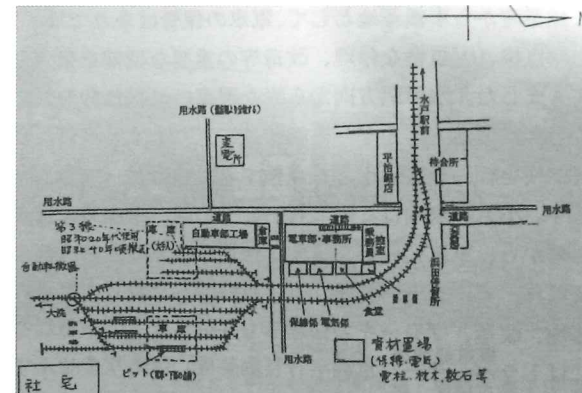


写真-35 浜田駅構内図 1965(S40) 出典：6)



写真-36 現在は「カワチ」さんに 2015(H27).09  
出典：Google ストリートビュー

## 8. 谷田、六反田

浜田駅を過ぎると、かつては広大な農地の中ゆったりと専用軌道を走っていました。現在は宅地化が進んでいます。備前堀からの派川である「新川」にはガーター橋の上に木造人道橋となり、車は通れなくなっています。廃線跡は全体に一般の道路より若干狭く、要所要所に自動車幅規制の円柱等が建っています。近くには六地藏尊があり、特に桜の季節には美しく、写真家が訪れます。



写真-37 六反田付近 1965(S40).07 出典：2)



写真-38 新川に架かる人道橋 2012(H24).09.28



写真-39 車幅制限のある道路 2012(H24).09.28



写真-40 六地藏尊の桜 出典：水戸市 HP

## 9. 栗崎、東前、稲荷小下

栗崎駅から東前駅、稲荷小下駅は周辺に農地を残しつつ宅地化が進んでいます。

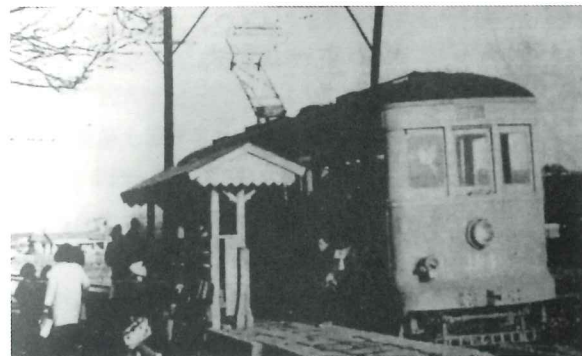


写真-41 東前駅 不明 出典：6)



写真-42 現況 2012(H24).11  
出典：Google ストリートビュー



図-4 栗崎駅から平戸駅までの全体位置図 出典：google地図に追記

## 10. 大串

東関東自動車道が大洗方向に潜ってすぐの交差点が大串駅であり、上り下りにホームがあったそうで、「ぬかだや食堂」さんと「バーバー野上」さんになっています。大串駅、塩ヶ崎駅跡からは、巨人ダイダラボウ伝説の「水戸市大串貝塚ふれあい公園」があります。

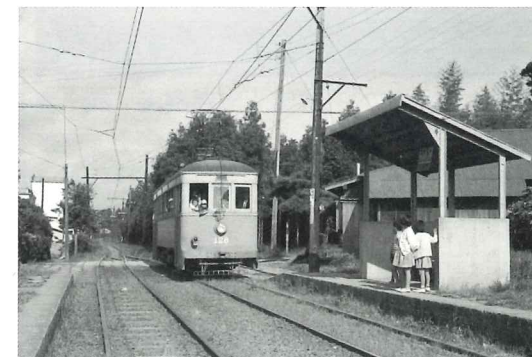


写真-43 大串駅 1966(S41) 出典：4)



写真-44 現況 2015(H27).09  
出典：Google ストリートビュー



写真-45 ダイダラボウ 出典：水戸市 HP

## 11. 塩ヶ崎

現地調査中に声を掛けられ、自宅に昔の写真があるからとわざわざ私の自宅まで届けて頂いた写真が、人物の写っている2枚の写真です。一人でポーズをとっているのは当時超有名アスリートのお姉様とか（ご本人からご了解を得ていないので顔なしです）。もう1枚はご本人とお母様とか。こうしてご協力頂けると嬉しいです。電車（線路でも）と地域の人との関わりが分かっていい写真です。



写真-46 塩ヶ崎駅で 1951(S26)頃 出典：10)



写真-47 駅跡は右側の畑 2015(H27).02.11



写真-48 休憩時にお母さんと 1955(S30)頃  
出典：10) 個人所有

## 12. 塩ヶ崎～平戸間

国道51号を越えて田圃の農道として軌道跡が残っています。さらに農業用水路をまたぐガーター橋跡も錆びた鉄骨が残っています。どちらの写真とも奥が大洗方向です。



写真-49 奥まで続く廃線跡 2015(H27).02.11



写真-50 廃線跡とガーター橋 2015(H27).02.11

## 13. 平戸

廃線跡は、大きな倉庫の右側を通り、赤い屋根の建物付近が平戸駅です。駅跡には、桜の古木や石碑がありました。さらに廃線跡を大洗に向かって進むと道路脇に「茨交」と刻んだコンクリート標柱が残っていました。



写真-51 倉庫を回って廃線跡  
2015(H27).02.11



写真-52 現在状況 2015(H27).10  
出典：Google ストリートビュー



写真-53 道路脇赤丸標柱 2015(H27).02.11



写真-54 「茨交」の文字 2015(H27).02.11

## 14. 涸沼川鉄橋

平戸駅からは涸沼川を渡って大洗の磯浜駅に向かいます。渡河する電車の背後の建物が現在も残っているようです。涸沼川上流左岸側には桜川から分かれた備前堀の終着点があります。

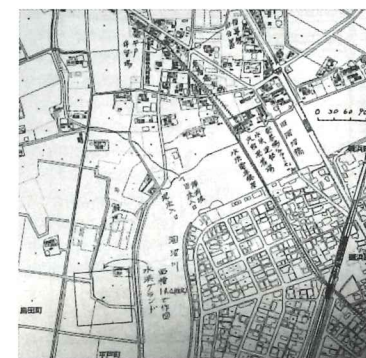


写真-55 涸沼川渡河 出典：6)

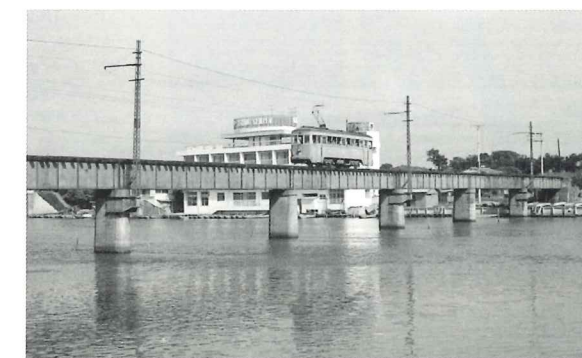


写真-56 水戸方向に渡河中 1951(S26)頃  
出典：10)



写真-57 平戸駅側 2015(H27).02.11

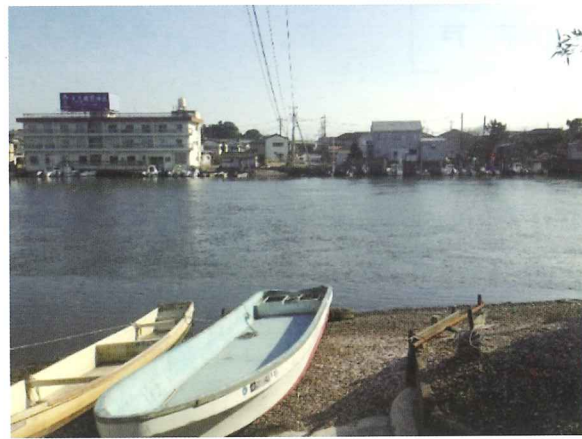


写真-58 磯浜駅側 2015(H27).02.11

15. 磯浜



図-5 平戸駅から湊駅までの全体位置図 出典：google地図に追記

廃線跡は、涸沼川を越え、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線をくぐり抜けて、さらにまっすぐ行くと「エコス大洗店」さんに突き当たります。少し手前の細い路地に「水浜」の標柱がありました。



写真-59 手前の端に標柱 2015(H27).02.11



写真-60 「水浜」の文字 2015(H27).02.11

廃線跡は、道路としてはちょっと狭く感じますが、適当にカーブしながら大貫駅に向かいます。



写真-61 磯浜から最初の急カーブ 2015(H27).02.11



写真-62 次の緩いカーブ 2015(H27).02.11

さらに住宅街を曲がりくねって進むと、また「茨交」の標柱がありました。



写真-63 大貫駅手前急カーブの道路端部に標柱 2015(H27).02.11



写真-64 「茨交」の文字 2015(H27).02.11

## 16. 大貫

大貫駅の直前のブロック塀の根元に「水浜」の標柱がありました。写真の白い車の先が駅跡です。



写真-65 駅直前の道路端部に標柱  
2015(H27).02.11



写真-66 「水浜」の文字 2015(H27).02.11

電車が走っていた頃の大貫駅の写真と、つい10年ほど前の写真、そして完全に跡形もなくなった現在の写真から時の移り変わりを見て下さい。

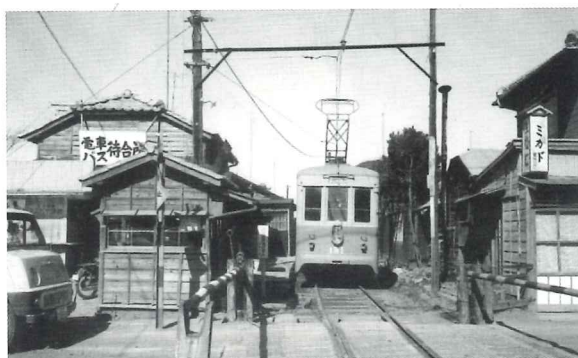


写真-67 大貫駅 1965(S40).02.25 出典：3)



写真-68 大貫駅 1995(H7).01 出典：3)



写真-69 踏切の道路と海の方 2015(H27).02.11



写真-70 勘十郎堀跡の船溜り 2012(H24).10.12

江戸時代末期に物資輸送向上のため、太平洋から酒沼川を上り、酒沼の海老沢河岸からから鉾田側の紅葉の巴川に至る台地に堀を掘り、霞ヶ浦・利根川・江戸川を通る、江戸までの内陸の水運を開こうとした人がいました。松波勘十郎と言います。その水路筋の一部が、大貫駅から程近く、酒沼川の直角に曲がる箇所の大洗側に残っています。詳細は、建コンIbaraki第14号の鈴木信之氏の特集記事「勘十郎堀りと河川舟運の再構築」をご覧ください。

## 17. 曲松

曲松駅は、大きな駅舎があり、ホームが上り下りの2箇所、中央に上下方向の線路がある相対式でした。現在は大洗消防署の敷地になっています。当時は海水浴客でにぎわったそうです。最近ある地域調査で年配の品のある方にお会いし、水浜線の話をしたところ、次回に、肩を組んだ学生3人組の写真を見せて頂きました。私が生まれたころに、海水浴場でアルバイトをしていたらしいです。その仲間とのスナップです。その方は向かって左端の丸い帽子の慶大生、中央は座布団帽子の早大生、右端の帽子なしが明大生とか。古き良き時代の思い出でした。「慶応ボーイ」を今でも維持しておられました。

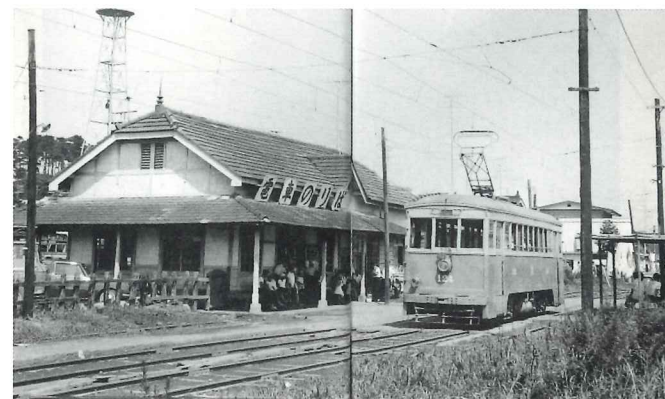


写真-71 曲松駅 1965(S40).07 出典：3)

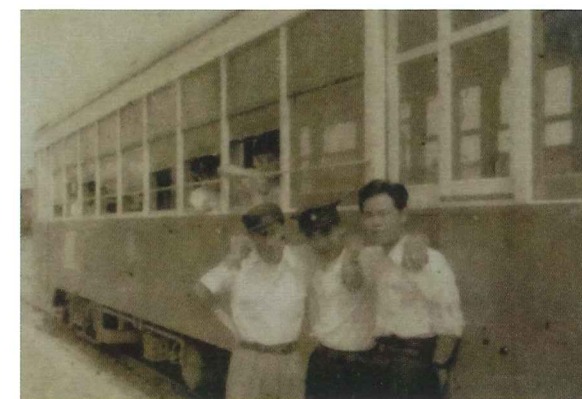


写真-72 曲松駅にて仲間と記念撮影  
1952(S27).07 出典：8)

大洗フェリー船着き場、大洗サンビーチ、大洗マリタワー、めんたいパークの他大洗が舞台の女子高生アニメ漫画ガルパン（ガールズ&パンツァー）聖地巡礼など盛況となってきました。昔の水際のパラペット、漁港跡等の遺構も残っています。探してみても如何でしょうか。

## 18. 仲町～東光台

仲町駅から東光台駅へは、坂道の東側の崖を崩した切通しを通過していたそうです。



写真-73 仲町駅付近 2013(H25).05  
出典：Google ストリートビュー



写真-74 坂道の切通廃線跡状況 2013(H25).05  
出典：Google ストリートビュー



## 19. 新・旧大洗

大洗神社大鳥居から上がってきた道との交差点から東に延びる道添いの南側空地がかつての水浜線廃線跡です。以下の古い写真は私の就学前の強烈な印象の残るものです。水浜線をまとめるきっかけとなった、祖母とのたった1回の大旅行だったのです。これらの写真から当時がはっきりと思い出されます。



写真-75 新大洗駅 1964(S39).08.15 出典：3)



写真-76 新大洗駅舎 1965(S40).02.25 出典：3)



写真-77 竜宮城のような水族館  
1964(S39) 出典：5)



写真-78 右側に新大洗駅、左側に旧大洗駅  
2013(H25).05 出典：Google ストリートビュー

この新・旧大洗駅跡から大洗磯前神社、神磯の鳥居が額縁で見られるホテル、磯場など観光スポットがすぐ近くです。



写真-79 大洗磯前神社 出典：大洗町 HP



写真-80 神磯の鳥居 出典：大洗町 HP

## 20. 新・旧大洗～祝町～願入寺入口、新・旧海門橋

新・旧大洗駅から祝町駅間は現在大洗ゴルフ倶楽部の敷地となっており、廃線跡はほぼ真っ直ぐに結ぶ位置といわれています。祝町駅から願入寺入口駅、新・旧海門橋駅跡は現在の県道から少し西側に回り込み、今に残る情報が少ないようです。周辺には、願入寺奥の絶壁には、水戸八景の一つ「巖船夕照(いわふねのせきしょう)」があり、海岸には昔の水族館からは想像できないほど素晴らしい「アクアワールド大洗水族館」があり連日の賑わいを示しています。



写真-81 水戸八景「巖船夕照」 出典：大洗町 HP

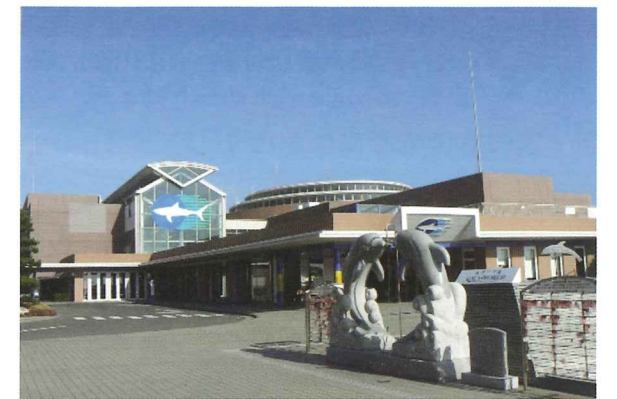


写真-82 アクアワールド茨城県大洗水族館  
出典：水族館 HP

## 21. 海門橋～湊

海門橋は何度も流され、4代目の海門橋開通 (S5 (1930).11.22) とともに水浜線も大洗と那珂湊が繋がりましたが、S13 (1938) 6の海門橋流出により休業し、S28 (1953).10.20湊駅～大洗駅間が廃止となったそうです。現在の橋は5代目ということです。当初は有料でしたが、現在は無料です。湊駅は利用期間も短く情報が少ないです。那珂湊には水戸徳川家関連の湊公園「い賓閣(いひんかく)」、「反射炉」、水戸八景の一つ「水門帰帆(みなとのきはん)」等の歴史的遺構や那珂湊漁港魚市場の食事などで賑わっております。

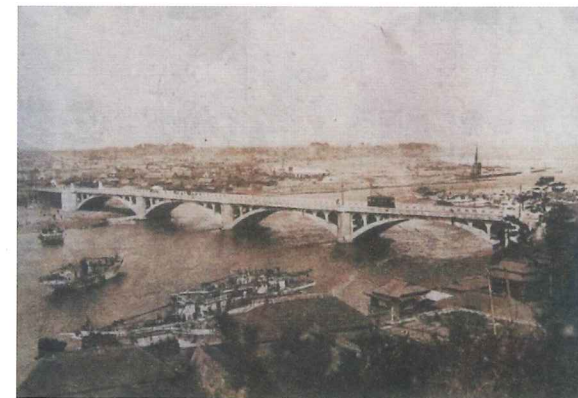


写真-83 4代目海門橋を渡る水浜線  
時期不明 出典：7)



写真-84 現在の5代目海門橋 2013(H25).05  
出典：Google ストリートビュー



写真-85 起終点湊駅付近 2013(H25).05  
出典：Google ストリートビュー



写真-86 水戸八景「水門帰帆」  
出典：ひたちなか市 HP



写真-87 湊公園 い賓閣跡  
出典：ひたちなか市 HP

#### 4. おわりに

手短にまとめようと思いましたが、駅数も多いので上手くまとめきれませんでした。今回は沿線の情報も入れてみました。この記事を読んで頂いて、廃線跡をご自分の足で歩いて、ご自分の目で見て、そして周辺のスポットを発見して下さい。そして新情報を教えて下さい。

#### 引用した情報・写真等の出典一覧

- 1) 日本鉄道旅行地図帳 3号 関東1 (株)新潮社 平成20年7月
- 2) [http://blogs.yahoo.co.jp/yamada\\_collection2007/folder/1289559.html](http://blogs.yahoo.co.jp/yamada_collection2007/folder/1289559.html)
- 3) 63 茨城交通水浜線 中川浩一 (株)ネコ・パブリッシング 2004年11月
- 4) <http://umemado.blogspot.jp/>
- 5) 戦後70年茨城の記録 茨城新聞社 2015年8月15日
- 6) 水濱電車-水戸から大洗・湊へー 小野寺 靖 川田プリント 平成24年1月20日
- 7) 茨城新聞記事 2016 (H28) 年6月12日
- 8) 情報を頂いた人々 蛭沢寛様、吉川誠仁様、柳瀬武男様、関根てる子様方々

略 歴：岡崎克美

1952年 茨城県常陸太田市生まれ

1975年 東京教育大学理学部（現筑波大学）卒業

1975年 日本テトラポッド株式会社（現 (株)不動テトラ）入社

この間に 株式会社エコー、(財)リバーフロント整備センター（現 公益財団法人リバーフロント研究所）出向

2004年 中央技術株式会社入社 現在 技術顧問

資格：技術士（建設部門、河川、砂防及び海岸・海洋）

RCCM（同部門）

測量士、一級土木施工管理技士、一級造園施工管理技士 等